



優秀賞



鶴崎工業
後藤 奈々美

設計主旨

竹田市には城下町があり、季節になると「たけた竹灯籠『竹楽』」が行われ、城下町にはたくさんの竹灯籠が並び、多くの観光客が訪れる。

また、大分県は「真竹」の生産が日本一であり、その竹を用いた竹工芸も、竹田市の

お土産として有名である。

しかし、一方では職人の高齢化による次世代の担い手不足、竹材の需要減退による管理が行き届かない竹林が増えたことによる、周囲の森林への竹の侵入が増加していることが問題となっている。

さらに、竹は根を浅く張るため、広範囲に根を張った竹林が地震災害によって滑り落ちることもある。

そこで、私は「竹に関する問題や被害（竹害）」を解決すると共に、竹田市の魅力である「竹」をもっと活用し、町の魅力を広げることができる住まいを考えた。

竹に囲まれた住まい ～供給過多の竹を生かして 災害と老朽化に備える～

